

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 滝沢ハム株式会社 上場取引所 東
コード番号 2293 URL https://www.takizawaham.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤太郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 山口 輝 (TEL) 0282-23-5640
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,877	△4.6	39	—	56	—	43	—
2023年3月期第2四半期	14,540	△0.3	△159	—	△136	—	△143	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 104百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △142百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	21.26	—
2023年3月期第2四半期	△70.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,378	3,761	28.1
2023年3月期	12,774	3,657	28.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,761百万円 2023年3月期 3,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,850	8.1	260	—	280	—	200	—	97.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	2,102,000株	2023年3月期	2,102,000株
2024年3月期2Q	48,447株	2023年3月期	48,447株
2024年3月期2Q	2,053,553株	2023年3月期2Q	2,053,631株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想等のご利用に当たっての注意事項等については、添付書類3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期貸借対照表関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により社会経済活動の正常化が進み、消費行動の変化が見られました。一方、ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰、円安進行に伴う物価上昇などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、原材料やエネルギー価格の高止まり、物流コストの上昇や人手不足、継続的な物価上昇からの個人消費の停滞など、引き続き厳しい事業環境となっております。

このような状況の中で、当社グループは安全安心な商品の安定供給を引き続き図ってまいりました。加工品販売では、4月に価格改定を実施し、単品量販や企業別対応により販売数量の回復を図るとともに新商品提案会を実施いたしました。また、引き続き原価低減と生産性の向上を図りコスト削減に努めるとともに、食肉では、新規仕入先の開拓や一次加工品の商品開発、生産ラインの外部移管を進めてまいりました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の売上高は、消費者の生活の変化とともに節約志向の強まりから販売競争が激化し、販売数量が減少したことで、138億77百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

損益面につきましては、価格改定の効果やコスト削減に努めたことにより、営業利益39百万円（前年同期1億59百万円の営業損失）、経常利益56百万円（前年同期1億36百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益43百万円（前年同期1億43百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）の計上となりました。

食肉加工品部門

食肉加工品部門につきましては、ローストビーフ・生ハム等の売上は増加いたしました。ハム・ソーセージ等の売上が減少いたしました。この結果、この部門の売上高は55億41百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

惣菜その他加工品部門

惣菜その他加工品部門につきましては、ハンバーグ類の売上が前年を上回りましたが、CVS向け惣菜品やサラダチキン等の売上が減少いたしました。この結果、この部門の売上高は25億95百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

食肉部門

食肉部門につきましては、仕入コストの上昇と販売競争の激化により輸入牛・豚肉の売上が大きく減少いたしました。この結果、この部門の売上高は56億66百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

その他部門

その他部門につきましては、社会経済活動の正常化から外食部門等の売上高は73百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

※第1四半期連結累計期間より、一部の品目について事業部門別の区分を変更しており、各事業部門の比較については、変更後の区分に組み替えた数字で比較しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ6億3百万円増加し、133億78百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が4億48百万円、現金及び預金が1億98百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ4億99百万円増加し、96億16百万円となりました。これは主に買掛金が3億70百万円、未払金が1億20百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ1億4百万円増加し、37億61百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が59百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が43百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ1億98百万円増加し、19億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、5億13百万円（前年同期20百万円の支出）となりました。主な内訳は、仕入債務の増加3億70百万円、減価償却費3億38百万円、税金等調整前四半期純利益64百万円、売上債権の増加4億49百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は、36百万円（前年同期4百万円の収入）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出27百万円、無形固定資産の取得による支出20百万円、投資有価証券の売却による収入10百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は、2億78百万円（前年同期比50.9%減）となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出2億72百万円、リース債務の返済による支出2億36百万円、長期借入れによる収入2億円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,927,678	2,125,911
受取手形及び売掛金	2,803,738	3,252,011
商品及び製品	1,232,452	1,265,160
仕掛品	204,562	230,406
原材料及び貯蔵品	231,165	215,576
その他	57,957	23,988
貸倒引当金	△281	△324
流動資産合計	6,457,273	7,112,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,553,314	1,486,385
機械装置及び運搬具（純額）	256,819	246,888
土地	1,620,657	1,620,524
リース資産（純額）	978,889	916,672
その他（純額）	74,949	73,197
有形固定資産合計	4,484,629	4,343,668
無形固定資産	97,223	101,495
投資その他の資産		
投資有価証券	1,456,964	1,541,211
退職給付に係る資産	29,698	30,522
その他	253,108	253,145
貸倒引当金	△4,031	△4,697
投資その他の資産合計	1,735,740	1,820,181
固定資産合計	6,317,593	6,265,346
資産合計	12,774,866	13,378,076

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,405,995	2,776,947
短期借入金	2,904,332	2,953,824
リース債務	398,231	341,113
未払法人税等	26,422	40,514
賞与引当金	100,637	104,787
役員賞与引当金	-	3,484
その他	768,594	977,533
流動負債合計	6,604,213	7,198,202
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	991,031	899,113
リース債務	689,993	679,124
繰延税金負債	179,561	202,380
執行役員退職慰労引当金	9,488	10,566
退職給付に係る負債	310,710	303,337
その他	132,194	123,616
固定負債合計	2,512,979	2,418,139
負債合計	9,117,192	9,616,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	684,424	684,424
利益剰余金	1,431,418	1,475,076
自己株式	△5,033	△5,033
株主資本合計	3,191,310	3,234,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	451,525	511,224
退職給付に係る調整累計額	14,838	15,542
その他の包括利益累計額合計	466,363	526,766
純資産合計	3,657,673	3,761,734
負債純資産合計	12,774,866	13,378,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	14,540,157	13,877,231
売上原価	12,602,200	11,757,726
売上総利益	1,937,957	2,119,504
販売費及び一般管理費	2,097,359	2,080,220
営業利益又は営業損失(△)	△159,401	39,283
営業外収益		
受取利息	92	62
受取配当金	16,713	17,601
受取賃貸料	15,858	15,588
補助金収入	8,970	664
その他	5,748	5,689
営業外収益合計	47,384	39,605
営業外費用		
支払利息	22,437	20,960
その他	2,165	1,224
営業外費用合計	24,603	22,184
経常利益又は経常損失(△)	△136,621	56,704
特別利益		
固定資産売却益	9,920	-
投資有価証券売却益	11,449	8,123
特別利益合計	21,370	8,123
特別損失		
固定資産除却損	87	79
減損損失	783	133
特別損失合計	870	213
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△116,121	64,614
法人税、住民税及び事業税	9,334	20,956
法人税等調整額	18,325	-
法人税等合計	27,659	20,956
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△143,781	43,657
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△143,781	43,657

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△143,781	43,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,635	59,698
退職給付に係る調整額	△15,100	704
その他の包括利益合計	1,534	60,403
四半期包括利益	△142,246	104,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△142,246	104,060

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△116,121	64,614
減価償却費	370,402	338,646
減損損失	783	133
引当金の増減額(△は減少)	△43,794	9,421
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	71	△824
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,678	△8,351
受取利息及び受取配当金	△16,806	△17,663
支払利息	22,437	20,960
固定資産除却損	87	79
固定資産売却損益(△は益)	△9,920	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△11,449	△8,123
売上債権の増減額(△は増加)	△101,964	△449,596
棚卸資産の増減額(△は増加)	△194,468	△42,963
仕入債務の増減額(△は減少)	99,139	370,951
未払消費税等の増減額(△は減少)	△55,501	28,541
その他	74,553	222,121
小計	23,125	527,947
利息及び配当金の受取額	16,806	17,663
利息の支払額	△22,516	△21,158
法人税等の支払額	△37,541	△11,136
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,125	513,316
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,560	△27,618
有形固定資産の売却による収入	21,495	-
無形固定資産の取得による支出	△7,860	△20,656
投資有価証券の取得による支出	△2,357	△2,389
投資有価証券の売却による収入	31,753	10,467
貸付けによる支出	△2,350	△300
貸付金の回収による収入	651	3,908
定期預金の増減額(△は増加)	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,770	△36,590
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	30,000
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	△277,691	△272,426
社債の償還による支出	△20,000	-
リース債務の返済による支出	△258,904	△236,062
配当金の支払額	△41,050	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△567,645	△278,495
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△583,000	198,230
現金及び現金同等物の期首残高	2,137,750	1,701,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,554,750	1,900,173

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、2018年11月19日にスターゼン株式会社より株式会社シンコウフーズと共同で訴訟の提起を受けました。当該訴訟は、株式会社シンコウフーズが保有する特定加熱食肉製品の製造方法に関する特許権（特許第5192595号）を侵害するとして、同製品の製造・販売等の差し止め及び損害賠償請求を内容とするものであり、現在係争中であります。

なお、本件訴訟が当社グループの今後に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。